一般質問（4）

放射能対策は測定を充実させよ！給食食材の測定も実施の決断を！

大友　かく子（ネット）

質問 放射能汚染対策について、小学校・児童館・学童クラブの臨時測定の実施を評価する。今後の空間線量の測定と給食食材測定の検討状況は。

答弁 空間線量の測定は、国や都の方針、社会動向などを見きわめ適切に対応する。食材の安全性は、市場に流通している農産物等は出荷制限の対象となっておらず、給食食材として使用して問題ないと考えている。都や国と連携し対応したい。

質問 協働の推進について、市民協働推進センターゆめこらぼ設置から3年が経過する。3年間の評価、検証、そして今後の展望は。

答弁 NPOの育成やネットワークの構築等一定の成果が出ている。今後は調整機能の充実を図りたい。

質問 住吉町6丁目都営住宅跡地の使用に対する、住民への早急な情報提供と緑地の確保、地域での共有を都へ働きかけるべきである。

答弁 事業に関する周知は近隣対応を含め、事業主へ適切な対応をするよう求めている。緑地として市民に開放を求める要望は引き続き都へ伝える。

◇宅地開発による公園・緑地の維持管理について
◇がれき受け入れについて
◇放課後子ども教室について

都営住宅跡地（住吉町６丁目）

防災計画には女性・子ども・障がい者の参画を！就労移行支援を！

石田　ひろこ（ネット）

質問 防災計画の、女性・子ども・障がい者の参画について。

答弁 各初動支部に配置される5人の緊急初動要員のうち、1人は必ず女性が配置されている。園児・児童については防災展示コーナーを活用し、イベント及び体験型の防災教育を通じ対応力の向上を目指す。障がい者については関係団体との意見交換を行い、必要な態勢等の検討を進めている。

質問 市内には障がい者を支援する就労移行支援事業所がないが考えは。

答弁 社会福祉法人等が今後市内で就労移行支援事業を含んだ事業展開を検討中と聞いている。情報の提供等をしていく予定である。

質問 認知症サポーターを多世代に広げる考えは。

答弁 養成講座の開催を各学校に広報し、働きかけていく。

意見 子どもだけでなく保護者にも広げてほしい。

◇介護予防・日常生活支援総合事業について
◇高齢者の移動サービスと買い物難民対策について
◇フレンドリー内の相談機能について
◇NPO等企画提案事業について
◇福祉の視点と、学校で支援が必要な子どもについて
◇保護者との協働について

防災展示コーナー（防災センター）

市民目線に立った相談体制の整備若者に近い自治体の情報発信を

石塚　真知子（民主）

質問 児童虐待や女性問題等の早期発見・解決のため、庁内関係部署の連携や、関係機関との連携強化が必要と考えるが、市の考えは。

答弁 児童に関しては、要保護児童対策地域協議会を設置し、適切な保護を行うために関係機関や庁内関係部署と連携し、虐待の防止や児童への支援を行っている。女性問題に関しては、状況により手続きの代行を含めて相談者が安心できるよう対応に努めている。

質問 次世代を担う若者と市をつなげるためにも、新たな情報発信の活用を取り入れるべきと考える。

答弁 既存のホームページの内容を充実させるほか、ソーシャルメディア*サービス、特にツイッターの活用について調査・研究する。

意見 震災直後、ひとり暮らしの若者は情報が少なく孤立していた。防災の面からも日ごろ市役所が遠い若者に向け、平時から関心を持ってもらうための工夫を。

質問 中学校の武道・ダンス必修化について、来年度に向けた準備体制は。

答弁 専門性の高い外部指導員の確保が課題である。東京都のモデル校指定を受けている田無第一中学校では、指導方法の研究を行い、市内の全中学校の教員が参加し研修を深めている。

まず既存の公共施設有効活用を！高齢者の雇用の確保を！

坂井　かずひこ（民主）

質問 公共施設の適正配置は、民間経営の視点からも現在手持ちのストックをいかに有効に活用するか、大変重要と考えるが市長の見解を問う。

答弁 地域経営戦略プラン2010における実施項目の名称が「公共施設の適正配置・有効活用」となっているとおり、適正配置を進めていく上で既存の施設を資源としてとらえ、有効活用を図っていく観点も重要だと認識している。

質問 高齢者人口は増加の一途だが、働きたい高齢者も、人材が欲しいという場所も、まだまだあるのではないか。高齢者の雇用について、シルバー人材センターの活用も含め、市の考えを問う。

答弁 仕事や市民活動に意欲的な元気な高齢者が多くなってきている。シルバー人材センターと連携して雇用・就業の推進を図ることが大切だと考えている。シルバー人材センター以外でも、公共職業安定所との連携も重要だ。

質問 市民参加・NPO等との協働について問う。

答弁 協働事業を実施しながら本市の「市民活動団体との協働の基本方針」への理解を深めていただき、NPO等の育成を図りたいと考えている。

自転車整理指導員として働くシルバー人材センター会員

用語の解説

＊HUG（「避難所・運営・ゲーム」の略称）
静岡県が開発した、避難所の運営を考えるための模擬体験ゲーム。避難者を体育館や教室に見立てた平面図に適切に配置し、避難所で起こるさまざまな出来事に対応していくことで、参加者はゲーム感覚で避難所の運営を学ぶことができる。

＊胆道閉鎖症
生まれつき、または生後まもなく胆汁の通り道である胆管が詰まり、胆汁を出すことができなくなる病気。便が白っぽくなるという特徴があるため、便色カラーカード（うんちの色見本）はおむつの横に置いて赤ちゃんの便を観察することができる。

＊予約棚システム
平成23年7月から中央図書館で導入したサービス。利用者は自動貸出機を使い、セルフサービスで予約した資料を受け取ることができる。

＊ソーシャルメディア
電子掲示板やブログ、カスタマーレビューなど、インターネットを利用してコミュニケーションを促進するサービスの総称。

市民の暮らし最優先の予算編成を歩行者と自転車の相互安全確保を

倉根　康雄（共産）

平成24年度予算編成について

質問 数年来の経済・雇用情勢の悪化、大震災の復旧・復興対策の地方財政への影響など、厳しい財政状況が続くが、市民の暮らしを守るため最大限の努力を。

答弁 市民サービスの推進と新たなまちづくりへの取り組みをあわせて進める。

公共施設適正配置について

質問 基本計画案に市民意見が多数寄せられた。具体的検討を進める過程での市民意見の聴取について伺う。

答弁 各事案に適した形で市民説明や意見聴取を行う。

後期高齢者医療について

質問 保険料の大幅アップが見込まれている。東京都財政安定化基金を活用するなど、引き上げない対応を東京都に要請せよ。

答弁 国・東京都に積極的な財政支援を要望している。

交通安全対策について

質問 警察庁が幅3m未満の歩道の自転車通行原則禁止を打ち出した。自転車レーン整備の検討状況は。

答弁 警察と検討を進めている。自転車レーンの設置可能な道路はごく一部だ。

質問 アスタビル周辺は歩行者が多く自転車を乗り入れるべきではないとの声もある。時間規制など対策を。

答弁 交通管理者の田無警察へ要望を伝える。